

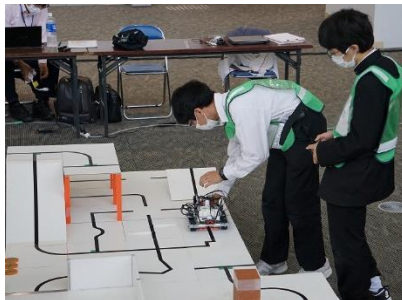
「ロボカップジュニア・ジャパンオープン 2022 けいはんな」で第8位

4月22～24日に京都にある、けいはんなオープンイノベーションセンターで開催された「ロボカップジュニア・ジャパンオープン 2022 けいはんな」に、コンピュータ部の生徒（3年生2名）が出場しました。

ロボカップジュニアは製作した自律型ロボットで競技を行うロボットコンテストです。コンピュータ部の生徒はレスキュー（World League Line）部門に出場しました。レスキュー部門の競技内容は、フィールドのラインをライトレースしながら、坂道や障害物、シーソーといった課題をクリアしながらコースを進んでいき、避難ゾーンで被災者を避難場所に救助した後に避難ゾーンを脱出してゴールを目指すというものです。

岡山ノード大会、岡山ブロック大会を勝ち抜き今回「ロボカップジュニア・ジャパンオープン 2022 けいはんな」に出場することができました。

当日の会場の状況（照明の明るさ等）が日頃の練習場所とは異なるため、生徒達はセンサーの読み取り値やプログラミング等の調整が難しかったようです。しかし、最後まであきらめずに挑戦し続けた結果、全国で8位という好成績を残してくれました。



【生徒の感想】

全国からの出場者と交流することができ、とても興味深い話を聞くことができよかったです。また、他チームのロボットの動きを見て、素早い動きや斬新な機構に感心しました。

大会期間中にロボットの改良を好きなだけやりこむことができ楽しかったです。当日は、会場の照明が想定していたよりも暗かったため、センサーが正しい値を読み取ってくれなくて苦労しましたが、チームメイトと協力してセンサーの位置を変えるなどの創意工夫をしました。しかし、最後までセンサーが正しい値を読み取らなかったため失点が少なくなるようにプログラムを書き換えて競技に臨みました。

今回、「ロボカップジュニア・ジャパンオープン 2022 けいはんな」に出場したことで、毎日あきらめずに挑戦し続けることの難しさや試行錯誤をしながら工夫することの大切さを感じました。

また、課題解決のためにどのような情報が必要であるか考えることで情報分析活用力を高めることができ、他チームの選手との交流を通してそれぞれのチームの工夫点を知ることでコミュニケーション力や垣根を越える力を高めることができました。